

## 消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

## 【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	救急車から傷病者を乗せたメインストレッチャーを引き出す際のヒヤリハット
3. 体験した事例の中心的要素	傷病者2人を病院収容しようと、後部座席に座っていた傷病者1人が自力歩行で降りた後、もう1人の傷病者が坐位で乗っているメインストレッチャーを救急車外に引き出す際、補助者が付いていない状態でメインストレッチャーの引き出し操作を開始した。
4. 体験した事例の原因・理由	機関員が誰か補助に付くだろうとの推測でメインストレッチャーの引き出し作業を開始したところ、隊長は自力歩行で車外へ出てきた傷病者と処置室から出てきた看護師に対応し、隊員は傷病者の所持品を持って出る事に対応した為、補助ができなかった。隊員が補助を付かないままメインストレッチャーが引き出されようとしている状態に気付き、機関員に対し操作の停止を要求した。

## 【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

## 【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 20 年 7 月 3 日 午前 9 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：病院の救急搬入口付近駐車場内
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	墜落・転落
7. 事例体験時の活動	救急、その他：傷病者を救急車内から病院の救急処置室へ搬入時 [ ]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	病院へ引継、搬送法
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	数年に1度程度の割合で体験している。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[48]歳、勤続年数[23]年、現場経験年数[20]年、階級[消防司令]、同様の活動[頻繁]、任務[車長]
○当事者B	年齢[43]歳、勤続年数[23]年、現場経験年数[20]年、階級[消防士長]、同様の活動[頻繁]、任務[隊員]
○当事者C	年齢[26]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[2]年、階級[消防副士長]、同様の活動[頻繁]、任務[機関員]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	C隊員	車両を停車し後部ドアを開放	
経過2	A隊長	傷病者1人を降車させ看護師のところへ移動	
経過3	B隊員	救急車内で傷病者の荷物を持つ	
経過4	C隊員	ストレッチャーの止め具をはずし引き出し準備	
経過5	C隊員	補助員が付く見込みで引き出し操作を開始	
経過6	B隊員	補助員が居ないことに気が付く	
経過7	B隊員	引き出し操作の停止を要求する	
経過8	C隊員	引き出し操作途中で一時停止する	
経過9	B隊員	補助に入りC隊員と引き出し操作開始する	
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。危険事象の対応方法を知っていた。資機材の機能が適切だった。他隊(員)から適切な注意を受けた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ	
-----	--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

